

会議要旨

会議の名称	第2回 行田市障害者計画策定委員会	
開催日時	平成29年12月15日(金) 13:30~15:00	
開催場所	行田市産業文化会館 2階 会議室	
事務局(担当課)	健康福祉課	
出席	委員	島田委員(会長)、風間委員(副会長)、関口委員、小巻委員、薄田委員、松本委員、木村委員、加村委員、桐ヶ谷委員、岩田委員、久保田委員(行田市視覚障害者福祉協会)、久保田(シモ子)委員
	その他	
	事務局	健康福祉部:夏目次長 福祉課:岡戸
欠席		
議題	議事:(1) アンケート調査結果について (2) 障害者計画 素案 について (3) その他	
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 4 閉会	

配布資料

- 1 次第
- 2 行田市障がい者計画改定のためのアンケート調査報告書
- 3 行田市障がい者計画素案
- 4 **【参考】**平成23年アンケート調査結果
- 5 みんなの学校上映会&講演会アンケート集計結果
- 6 障害者権利条約

1 開会

(事務局)

2 挨拶

(島田委員長よりあいさつ)
(事務局より配布資料の確認)

3 議題

(1) アンケート調査結果について

(事務局より、資料2について説明)

- 事務局 関連して、資料5「みんなの学校上映会&講演会アンケート集計結果」について説明します。
- 本日も委員さんとして木村委員と加村委員にご出席頂いておりますが、障害者ネットワークさんのほうで、統合教育を実践しているドキュメンタリー映画「みんなの学校」の上映会がございました。そちらにご来場頂いた方からアンケートを取りましたので、こちらの障害者計画の参考に使って下さいという形でご提供頂きましたので、本日皆様に配布させて頂いていることを付け加えさせていただきます。
- 島田委員長 今までの中でご質問があればお願いします。
- 久保田委員 (男性) 前回、障害者手帳には難病者も入っているということでしたが、このアンケートに難病者がいないのはどういうことでしょうか。難病者を差別しているのではないですか。
- 事務局 問9で、直接病名をお書き下さいという形で記入いただいております。前回の第1回の委員会の中で、やはり久保田委員さんから難病の調査を行わないのかというご指摘を頂き、保健所等々に、ご意見を載せて頂けるような団体さんや患者さんの団体さんがあるのか照会をさせて頂いた所ですが、現在、埼玉県内における難病者の団体というのは特に把握していないという状況がございましたので、今回につきましてはこちらでのアンケートという形で対応させて頂ければと思います。
- 事務局 補足いたしますと、久保田委員もご承知のとおり、現在難病は300近くございます。特定の難病、全体的な難病でも良いのですが、そうした難病に関係する団体さんが、北埼玉や利根圏域にありますかと保健所の方に確認したところ、現在は圏域に限ってはないとのことでした。しかしな

がら、国の計画の基本指針の中で難病の患者さんの周知や対応とかを計画の方に盛り込むような形の指針も出ておりますので、そういったものも盛り込んでいく必要性はあるという風に認識しております。ただ、そういった団体さんがあれば、色々お声を聞けたのですが、現状では近隣の圏域にはないということでした。

島田委員長

ありがとうございます。他にないかありますか。

関口委員

今回のアンケートの回答で、各年齢層について書いてありますが、実際の手帳保持者の年齢と回答者の年齢の割合というのは、ほぼ一致しているのでしょうか。

事務局

この後の素案の中でも若干触れられる部分もありますが、アンケートは無作為で出しており、年齢層の割合はだいたい一致していると認識しています。次の素案の中で実際の年齢構成等の表がありますので、そちらのほうでまた若干触れさせていただきます。

事務局

アンケートですが、手帳をお持ちの方については全員に送らせて頂いています。手帳をお持ちでない市民の方 1,500 人の抽出は、無作為で行いました。

関口委員

アンケートと実際の年齢層が違っていると、方向がずれるのではと思います。

木村委員

身体障がい者は 70 歳以上が多いと思います。できれば 20 歳から 64 歳までのデータを見ないと本当のニーズが分からない。いくらお金が足りないか、障がいの重さによって違うと思います。また、働いているか、福祉的就労をしているか、もう少し詳しいデータが欲しい。あればお願いします。

事務局

特に身体の手帳をお持ちの方で、70 歳代とか、高齢の方が入っていると、通常の年金収入が入ってきているという観点から、もうすこし若い世代に焦点を当てて集計を取ったほうが、より身体の手帳をお持ちの方の生活の実態が見えてくるというご意見でよろしいでしょうか。

委員

はい。

事務局

身体の方の手帳の等級のデータがありますので、等級別にもうちょっと実態を明らかにできるようなクロス集計を取ることは可能です。

事務局

この件については、今後業者と相談し、集計できるものについては、次回提供させていただきます。

(2) 障害者計画 素案 について

(事務局より、資料3について説明)

- 島田委員長 以上説明して頂きましたが、ご意見があれば頂戴したいと思います。
- 木村委員 アンケートの結果を踏まえて、どう反映をするのかが問題になると思います。もちろん、市でできる所とできない部分があり、例えば年金や手当の上乗せなどはできないと思います。
- 事務局 市ができる部分はなにか、アンケートから見てプランに反映する部分を次回に示して下さい。
- 木村委員 また、ノーマライゼーションという言葉がありますが、この言葉は3年前の言葉で、今使う人はいません。
- 事務局 今のお話で補足させて頂きます。
- 事務局 今回、資料を皆さんに送らせて頂いた時に、木村委員さんの方からお電話で、ノーマライゼーションという言葉は、今あまり使いませんが、この中にはけっこう載っていますよとご指摘を頂きました。その関係で今日お配りした1枚の紙ですが、木村委員さんの方からご提供頂きまして、ノーマライゼーションを含め、言葉の意味の整理をして頂いてございます。ノーマライゼーションは確かに古臭い言葉というところもありますので、こちらを参考にさせて頂きながら、また内容のほうは差し替えなり置き換えなど、意味が全く違ってしまう場合もありますので、その辺は再度検討させていただければと思います。
- 木村委員 ノーマライゼーションは日本語に訳すと共生社会。今は障害者権利条約の批准をしているので、「包括」または「インクルーシブ社会」が一般的になっています。
- 事務局 情報をご提供いただきましたので、言葉の意味の確認をさせて頂きながら、文言のことについては、また次回に提供させて頂ければと思います。

(3) その他

- 島田委員長 その他であればお願いします。
- 関口委員 計画書の中に「心のバリアフリーの実現」、「広報・啓発・普及活動の実現」というのがありますが、これが市民対しての活動と考えてよろしいでしょうか。
- 事務局 53ページの所でしょうか。まだこれは題名しか入っておりませんが、広報・啓発・普及活動ということでございますので、当然そういう考え方で宜しいかと思えます。
- 関口委員 と言うのは、今回のアンケートの中で、障害者用駐車場に一般の方がど

らんどん置いてるという主張があります。そういったことを、広報などでどんどん発表して頂きたい。それとこれもアンケートの中にもありましたけれども、障害者用車いすマークといったものがホームセンターで売られていると思うのですが、そういったことを、この計画の中で判断することは出来ないと思うのですが、もっと法的なものにならないかといったことを障がい者計画の中で発言していてもいいのではないかと思います。

事務局 今、確かなことは申し上げられませんが、一つのご提言として今日は聞かせて頂きます。実際に広報・啓発活動の所でどのような書き方になるか、次の3回目の時にはある程度のたたき台は示せるかなと考えています。

関口委員 ぜひ、アンケートの結果を活用していただければと思います。

島田委員長 先日の民生委員の集まりの時に、新しい自己申告のカードを事務局さんに提案して頂きました。今回のアンケートにも同封させて頂きましたが、それを一般市民の方も知っていないと活用できません。今の身障者マークも同じだと思います。改めて、色々な制度を知らないというのが問題だなと思いますので、制度の周知をお願いしたい。今のご発言に関連して、参考までにお話させていただきました。

他にございますか。

木村委員 今の件に関係して、障がい児者差別解消防止条例を作る際に、関口委員さんからあったような、障がい者マークをやたらと販売しないことを盛り込むのもひとつの考えだと思います。

久保田委員 (男性) 介助犬・盲導犬がまだ分からないというか、店でも入れない所もあるので、入れるようにして下さいというような連絡を、市の方から商工会などへ出来ないのでしょうか。

事務局 周知、啓発を兼ねたお願いということですが、よく考えて商工会の会長さんの所と相談させて頂きます。そういう依頼は出来ると思うので、細かいところはまた改めて相談させて頂ければと思います。

加村委員 計画実績とか、人数の見込み値とかが計画案に出ています。こういった数値が一律で人数的には毎年上がっているという風に計画案にはあると思うのですが、人口が減っている中でこういった数字はどういった観点で出されているのかなという部分が疑問に思いました。例えば意見の中にグループホームが少ないなどがありましたので、要望として出るのであればもう少し人数が増えてもいいのではと思ったりします。

事務局 ご指摘は、27, 28, 29年度のところは計画値が入っていて、実績値のところは空欄になっている部分だと思いますが、この計画値は、3年前の計

画の時に見込んだ数値が入っております。本来であれば、実績値を入れ込んだ状態でご提示できれば宜しかったのですが、ただいま集計中で今回間に合っておりません。数値の入ったものは、次回にお示しさせていただきます。

同じように第5期計画見込みという所は、これから、例えば生活介護であればどれくらいの利用があるであろうかという形を見込んでいくので、こちらについては過去の利用実績と伸びの状況を勘案しながら、今後は計画数値を盛り込んでいく作業となります。27, 28, 29年度の計画値と実績値の間に乖離がある、計画を上回る利用がなされているというものもあれば、計画を下回る利用のものもございますので、今後の計画値で修正していきます。

島田委員長
事務局

他に何かありますか。

この場でなかなかご意見を頂くというのも難しいと思うので、お帰り頂いてまたご覧頂いて、何か気づいたこと・ご意見がありましたら、その都度忌憚無く事務局宛に寄せて頂ければと思います。電話の口頭ですと行き違いもあると思いますので、できましたらFAX等でお寄せ頂ければと思います。

また、次回計画書作成のスケジュールの都合もありますので、できましたら年内位を目安に頂けますと計画の方に反映しやすいと思いますので、お早めをお願いしたいと思います。

島田委員長

時間の限られている中で、慎重に審議して頂き、ありがたく思っております。帰ってみると、また違うところに気づきがあるかもしれません。まだまだ盛り込めるいい機会を頂いている私たち委員でございますので、ご協力お願いします。

ここで議事進行を事務局にお返しします。

事務局

連絡事項でございますが、次回の3回目の委員会でございますが、年明け1月19日金曜日、本日より同日13時30分より、こちらと同じ会場になります。事務局からは以上です。

6 閉会

(事務局)